

# 8月7日は 北海道の七夕です

奈良時代から始まった七夕は、元は7月7日でしたが、使用する暦が変わったことで北海道では8月7日になりました。函館などの道南では、7月7日に行われているところもあるそうです。

## ～七夕の由来～

あるところに、神様の娘の織姫（おりひめ）と、若者の彦星（ひこぼし）がいました。織姫ははた織りの仕事、彦星は牛の世話しており、どちらも働き者でした。

やがて2人は結婚しました。

すると、今まで働き者だった2人は急に遊んで暮らすようになり、全く働かなくなってしまいました。怒った神様は、2人の間に天の川をつくって離ればなれにしてみました。

悲しみにくれた2人は泣き続けました。

それを見た神様は、前のようにまじめに働いたら、一年に一度だけ2人を会わせると約束しました。それから2人は心を入れ替えて一生懸命働くようになったのです。

そして、2人は年に一度七夕の日だけ天の川を渡って会うことができるようになりました。



・はた織り…布をつくる仕事  
・天の川…小さな星が集まってできたもの

お子さんにもわかりやすいよう簡単なお話にしています。  
「七夕ってね…」とお子さんにぜひお話してみてください。

## ～短冊～

短冊を笹の葉に飾ると、『織姫と彦星の力で願いが叶う、みんなを悪いものから守ってくれる』という言い伝えがあり、短冊の色にもそれぞれ意味があります。お子さんの願い事に合わせて色を決めるのも楽しいですね。

紫  
勉強ができるようにお願いする色

白  
約束を守ることができるように  
お願いする色

黄  
相手を信じ、大切に思う色

赤  
ご先祖様やおうちの人に感謝する色

緑  
いいことをたくさんできるように  
お願いする色

七夕に向けて願い事をするのはいかがでしょうか。天の川は、東から南に向かって現れるそうです。夜には空を見上げてみるのもよいですね。

どの星が  
織姫と彦星かな？

天の川はどこまで  
続いているのかな？



行事の由来を話したり一緒に飾り物をつくったりすることで、七夕がより楽しくなるでしょう。夏の日本の伝統行事「七夕」を、親子で楽しんでくださいね。